

これだけ覚えれば、すべての言葉を書き取れる

—— 基本文字のエキス版 ——

早稲田式速記マニュアル (第3版)

Q 速記って何？

A 人の発言や自分の考えを速記文字を使って素早く書き取ることだよ！

Q 速記って覚えにくいの？

A 原則さえ覚えればそれほどでもないけど、少し根気が必要だね！

平成15年9月1日 発行

【お断り】

- ★ 本冊子は、早稲田式速記文字をPR用に作成したものです。
- ★ 速記文字には、1音に1字を充てる「基本文字」と、もっと速く書くために線量を少なくした「省略文字」がありますが、本冊子では基本文字のみの紹介となっています。

1. 清音の書き方

ア	イ	ウ	エ	オ
㇀	㇁	㇂	㇃	㇄
カ	キ	ク	ケ	コ
㇅	㇆	㇇	㇈	㇉
サ	シ	ス	セ	ソ
㇊	㇋	㇌	㇍	㇎
タ	チ	ツ	テ	ト
㇏	㇐	㇑	㇒	㇓
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
㇔	㇕	㇖	㇗	㇘
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
㇙	㇚	㇛	㇜	㇝
マ	ミ	ム	メ	モ
㇞	㇟	㇠	㇡	㇢
ヤ		ユ		ヨ
㇣		㇤		㇥
ラ	リ	ル	レ	ロ
㇦	㇧	㇨	㇩	㇪
ワ				
㇫				

① 線の長さは、標準（例ナ）に対し、短線（例ア）は2分の1、長線（例ノ）は2倍だよ！

② まず、ア行（アイウエオ）、ア列（カサタナハマラヤワ）を覚えよう！

③ 次に、列の原則を覚えよう！

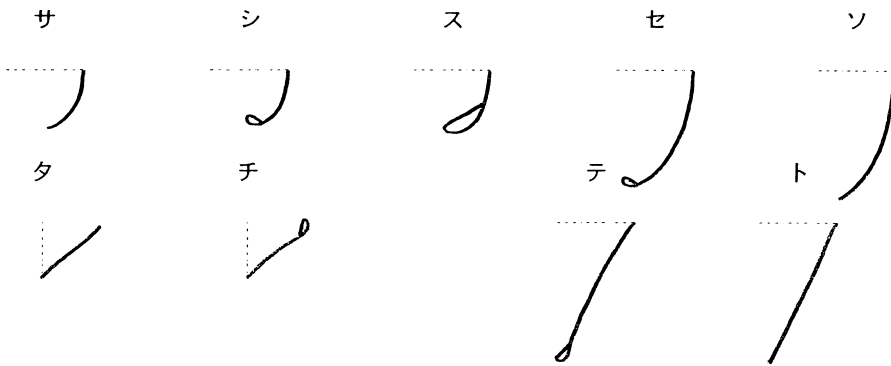
イ列（キシチニヒミリ） ⇨ ア列＋小円

ウ列（クスヌフムル） ⇨ ア列＋大円 ※例外「ツ・ユ」

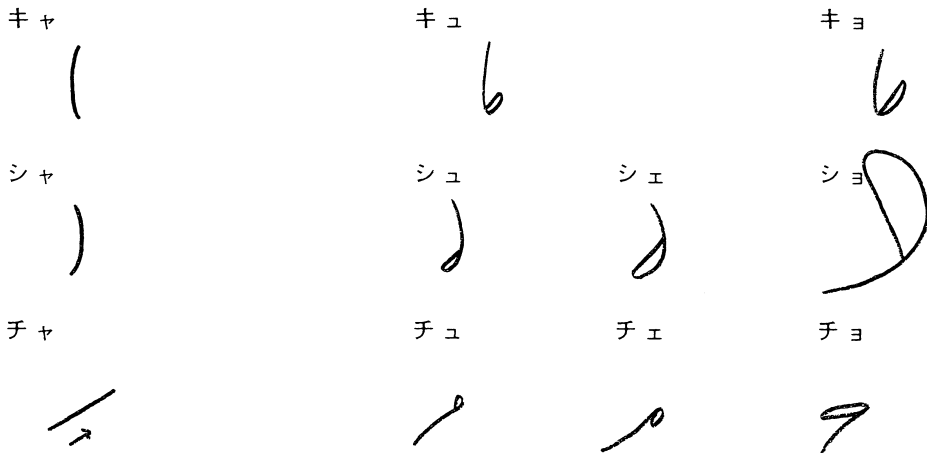
エ列（ケセテネヘメレ） ⇨ イ列×2

オ列（コソトノホモヨロ） ⇨ ア列×2

④ サ行、タ行（「ツ」を除く）については、言葉の2音目以降に出てきて続けて書きにくい場合、反対方向に書いてもいいよ！



2. 拗音・半濁音・半濁拗音の書き方



ニャ



ニユ



ニョ



ヒャ



ヒユ



ヒョ



ミャ



ミユ



ミョ



リャ



リュ



リョ



パ



ピ



プ



ペ



ポ



ピャ



ピユ



ピョ



① 拗音（キャキャキョ等）・半濁拗音（ピャピュピョ）の覚え方は、次のとおりだよ！

…ユ ⇒ …ャ + 小円 ※例「キュ・シュ・チュ・ヒユ」

…ャ + 楕円 ※例「ニユ・ミユ・リュ」

…ョ ⇒ …ャ + 楕円 ※例「キョ・チョ・ミョ・リョ」

…ャ + 大円 ※例「ヒョ」

…ャ × 2 + 大円 ※例「ショ・ニョ・ピョ」

② 半濁音（パピプペポ）の覚え方は、次のとおりだよ！

ピ ⇒ パ + 小円 プ ⇒ パ × 2 *

ペ ⇒ プ + 小円* ポ ⇒ プ + 楕円

③ 「ナャ・ミャ・リャ・ピャ」の下の「・」は、後から打とう！

この「・」は、他の言葉と間違えそうなき以外、普通打ちません。

3. 濁音・長音・長濁音の書き方

濁音（ガギグゲゴ等）

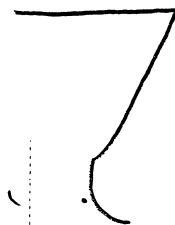
〔例〕 速度



早稲田



言葉



長音（カーキークーケーコー等）

〔例〕 練習



スピード



シャープ



長濁音（ガーギーグーゲーゴー等）

〔例〕 記号



レコーダー



書道半紙



① 「・」「し」は、省いても構わないよ！

※清音と同じ形になっても、前後の文章等から読み分けられます。

※メモ書き等前後関係がない場合や後で読む自信がないときは、つけます。

② 濁音・長音で「・」「し」をつける位置は、次のとおりだよ！

水平方向の線（ナ・マを含む） ⇒ 中央下

垂直方向の線（サ・タ・ハ・ヤ・ワを含む） ⇒ 中央左

③ 長濁音で「し」をつける位置は、水平・垂直すべて中央だよ！

④ 「・」「し」は、単語を書き終えてから最後に打とう！

4. 撥音・詰音の書き方

撥音（ン）……「ン」の前の速記文字の最後を右上方向にはじく、またはすっと抜く。

〔例〕 基本 簡単 専門



詰音（ッ）……「ッ」の前の速記文字の中央で、「ッ」の後の速記文字の頭を少し出す格好で交差させる。

交差しにくいときは、中央下または中央右に並べる。

〔例〕 速記 日記 冊子



① 撥音の例外として、水平方向にすっと抜くもの、最後をすっと抜くものもあるよ！

〔例〕 水平方向に抜くもの ⇒ キン ヌン ネン 等



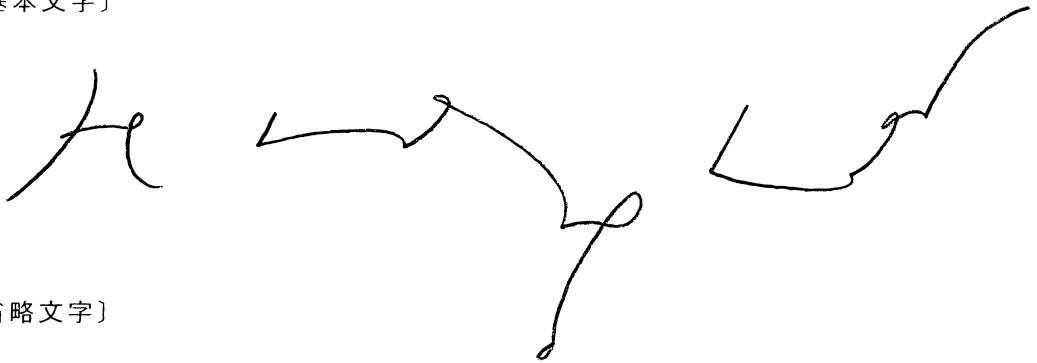
最後を抜くもの ⇒ アン サン ノン 等



5. 文章の書き方

【例文】「速記は、おもしろくて、楽しいよ！」

〔基本文字〕

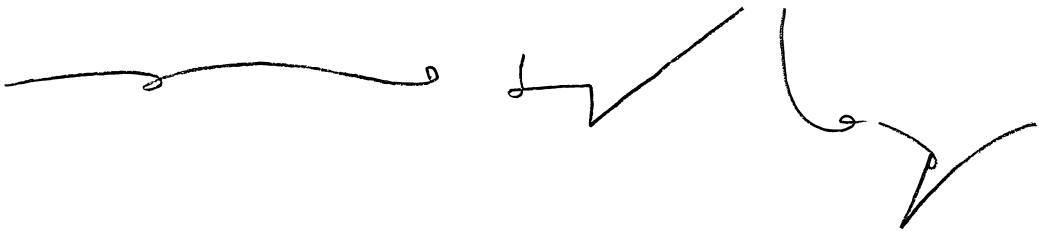


〔省略文字〕

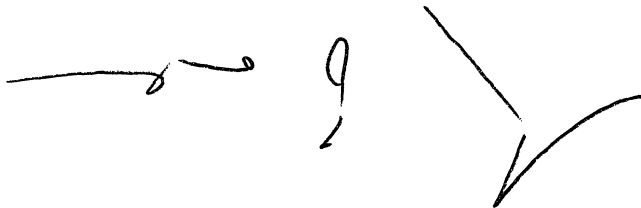


【例文】「メモに使うと便利だよ！」

〔基本文字〕



〔省略文字〕



① 速記文字は、文節ごと（メモに／使うと／便利だよ）に切ろう！

② 速記文字は、聞こえたとおりの音で書こう！

助詞ヲ・ヘ・ハ ⇒ 「オ・エ・ワ」

※助詞ハは、「ハ」の書き終わりをすっと抜くこともできます。

助詞ハ

